

「令和3年度西脇市就学前教育・保育関係予算に対する要望」に関する意見書決議

現在、各認定こども園におかれては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、質の高い就学前教育・保育を推進するため、鋭意努力を重ねられている。

特に、令和元年6月に設置された西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会の助言等を受け、限られた人材と時間の中で就学前教育・保育カリキュラムの実践を通じて、西脇市の将来を担う子どもたちの育成に御尽力をいただいている。

向上推進委員会設置後、1年3か月が経過し、様々な効果や課題等が確認されているこの時機を逃さず、今こそ目標達成に向けた環境を整えることが不可欠であり、令和5年3月末までを一つの節目として集中的に支援策を講ずる必要がある。

市行政におかれては、大型ハード事業整備や新型コロナウイルス感染症対応など、財政状況が極めて厳しい時期ではあるが、安心して子どもを育て、子どもが夢を持って健やかに成長できるまちの実現のため、下記事項について取り組むよう強く求めるものである。

記

1 新型コロナウイルス感染拡大時に配布できるマスク、消毒液等の備蓄について

医療・福祉施設等も含めて、今後、再び新型コロナウイルス感染が拡大し、マスク、消毒液等の消耗品の入手が困難になった場合、市において直ちに配布できるよう備蓄すること。

2 新卒・潜在保育教諭確保に対する支援について

各認定こども園と市行政が共催で就職フェアを開催するなど、保育教諭等の確保に努めているが、都市部との処遇格差は明らかである。早急に処遇改善を行い、新卒保育教諭や潜在保育教諭の確保について支援すること。これにより、研修の充実等によって教育・保育の質の向上につなげること。

3 SIDS予防の新規機器購入に対する支援について

昨年度に引き続き、0歳児から1歳児を対象にした新規機器導入の支援を検討すること。ただし、機器更新（買替え）経費、既設機器レンタル料、基本利用料等の維持費は除く。

4 特別な支援を必要とする児童等に対する支援について

認定こども園には軽度の発達障害児童が約10%いるとされ、さら

に、特別な支援を必要とする児童も増加傾向にある。当該児童を各認定こども園で受け入れ、安心して就学前教育・保育を受けられるよう保育教諭等の加配について支援すること。

令和2年9月24日

西 脇 市 議 会

西脇市長 片 山 象 三 様